

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (近畿)	◎	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、店の営業が再開できるならば、今月よりも改善すると予想している。
	◎	通信会社（社員）	・新学期が始まり、更にインターネットの利用が増えることが予想される。
	◎	観光名所（経理担当）	・7月は新型コロナウイルスの感染が拡大する時期ではないため、病床利用率は軽症者を入れなければ、ひっ迫することはないと考えられる。ただし、ウイルス自体がなくなるわけではないため、前年の8月のように、感染者数が増える可能性はある。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・取引先の催しや結婚式の予約が順調に埋まっている。
	○	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの影響で、百貨店のショッピングバッグを持って歩くことは気が引けるため、買物がしにくいといわれている。世間的にショッピングが許されるようになれば、これまでの反動で景気が動くと言われている。
	○	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くことが前提となるが、休業が避けられた場合、前年と同様に良くなると考えられる。ただし、百貨店も厳しいが、休業によって商品の販売機会が失われるため、取引先の業績悪化も避けられない。今後は事業の撤退や売場の閉鎖、取引条件の見直しといった申入れの増加が予想される。
	○	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチンについては、身近な客も接種し始めているなど、見通しが明るくなってきている。
	○	百貨店（特選品担当）	・東京オリンピックの開催の有無による影響が、良くも悪くも大きいなど、正直なところ先のことは分からない。ただし普通に考えれば、緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種も増えるため、やや良くなると予想される。
	○	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの感染第4波が収束し、営業の再開が見込まれる。
	○	百貨店（売場マネージャー）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチンの供給も増えることが予想される。人流が戻りさえすれば、客の購買意欲は高まると考えられる。
	○	百貨店（販売推進担当）	・全ては新型コロナウイルスの感染状況に懸かっている。休業している現状に比べれば、改善すると予想されるが、ワクチン接種の動きや回復の見込みは当初の期待を下回っており、売上の見込みは下方修正せざるを得ない。
	○	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチンは、高齢者への接種が7月までに完了する見込みである。頼みのワクチンがある程度行き渡れば、安心感が広がることで、消費マインドも高まる。
	○	スーパー（企画担当）	・緊急事態宣言の延長もあり得る状況であり、家庭での食事や調理の機会が増えるため、売上は全体的に高止まりとなることが予想される。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、感染者数も徐々に落ち着いてくれば、周辺の企業の出社も少し増えると予想される。
	○	コンビニ（店員）	・緊急事態宣言が解除されれば、人の動きが少し期待できる。
	○	家電量販店（店員）	・緊急事態宣言が解除された後は来客数も戻るほか、夏物家電の需要が高まる時期でもあるため、景気は上向き見込みである。
	○	家電量販店（店員）	・休業が解除されるほか、夏のエアコン需要のピークや決算期となるため、景気は回復すると予想される。
	○	家電量販店（店員）	・店舗の営業再開による飛躍的な回復は見込めないが、商品の経年劣化に伴う買換え需要はあるため、緩やかな改善が予想される。特に、コンサルティングセールスにこだわる当社の方針は、客からの信頼を得やすい。競合店と比べて、客の期待に応えられる自信があるため、時間は掛かるものの、間違いなく良くなる。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・良くなることを期待したい。
○	高級レストラン（企画）	・地域の観光支援事業やGo Toキャンペーンの再開、新型コロナウイルスのワクチン接種による影響で良くなる。	

○	旅行代理店（役員）	・緊急事態宣言の解除後は、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底した、新しい旅行スタイルが確立されると期待している。
○	旅行代理店（支店長）	・ゴールデンウィークが2年連続で最低の状況となったものの、2～3か月後であれば東京オリンピック、パラリンピックの状況も確定しており、期待するしかない。
○	ゴルフ場（支配人）	・今の来客数から想定すると、やや良くなる。
○	競輪場（職員）	・3度目の緊急事態宣言の発出で、先行きは不透明である。客足は遠ざかっているが、当レース場がリニューアルオープンするため、期待感もある。場合によっては、急反発する可能性もある。
○	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・緊急事態宣言が解除され、人の動きが戻ると予想される。
○	美容室（店員）	・気温が高くなると髪の毛を切りたくなるため、その部分では良くなるものの、新型コロナウイルスの感染状況次第である。
○	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・アロマオイルマッサージで服を脱ぐため、寒い時期よりも暖かい時期の方が来客数は増えるが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、何ともいえない。
○	住宅販売会社（経営者）	・飲食店、宿泊業以外の業種では、資金に余裕がある企業も目立ち始めている。今後は二極化が進むが、一般的に好調な動きが予想される。
□	一般小売店〔花〕（経営者）	・取引先の経費削減で、定期的な販売がなくなっているため、回復には時間が掛かる。
□	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・緊急事態宣言が発出されたが、直営店の来客数は横ばいであり、減少はしていない。
□	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が、高齢者だけでなく、ほかの世代に広がるまでにはしばらくかかるため、この数か月は我慢の時である。秋頃から活気が戻ると考えているため、それに向けて準備を進めていく。
□	一般小売店〔時計〕（経営者）	・少しずつ、新型コロナウイルスのワクチン接種券を受け取ったという話を聞く機会が増えたが、その後の具体的な話は全くない。その一方、感染のうわさだけが先行しており、うわさがうわさを呼ぶ状況で、余り良い話にはなっていない。ワクチンの具体的な効果ははっきり出て、安心感が広がるまでは、買物をする気にはならない。
□	一般小売店〔野菜〕（店長）	・緊急事態宣言が解除された後、どのような動きになるかによるが、まだまだ状況は変わらない。
□	一般小売店〔呉服〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染が少し収束すれば、回復に向かうことが予想されるが、商売自体は厳しい。
□	百貨店（企画担当）	・緊急事態宣言の解除時期が見通せない。また、解除になったところで、現状からの劇的な回復は見込めない。この先、当業種で景気が良くなるということは考えられない。
□	百貨店（店長）	・緊急事態宣言の解除や、新型コロナウイルスの感染者数の減少、ワクチン接種などのスケジュールがみえなければ、数字が上向くことはない。
□	百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスとの共存で、暮らしに感染対策が定着しつつあるなか、ワクチンが経済活性化の切り札とされてきた。しかし、供給や接種は遅々として進んでおらず、変異株の感染の急拡大によって3度目の緊急事態宣言が発出された。企業業績には大きな痛手となるため、株価が下落しているように、先行きの不安感が強く、景気の回復が見通せない状況である。
□	百貨店（服飾品担当）	・今年の5月商戦はゴールデンウィークと母の日が近いが、ほぼ売上が取れていないほか、緊急事態宣言も延長される可能性も高いため、現在から大きく変化する可能性は低い。ただし、前年も緊急事態宣言の解除後は、売上が前年比で70%での推移となったことから、解除後はスムーズに回復することが予想される。
□	百貨店（宣伝担当）	・1回目の緊急事態宣言から1年が経過し、様々な感染対策をしながら売上の回復を目指してきたが、何も改善していない。一部の富裕層を除いた客の節約志向もますます顕著になり、今後の営業の在り方が問われているが、明確な答えが見当たらない状況である。

<input type="checkbox"/>	百貨店（販促担当）	・まさに、新型コロナウイルスの影響次第である。緊急事態宣言の発出のような状況であれば、当然商売にならない。やや感染が収まった状況ならば、ゴールデンウィークも我慢した反動で、購買心理が活発化する。現状は感染状況も予測不能であり、対応の準備ができないということを改めて感じている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	・関西では、大阪を中心に4月25日～5月11日まで緊急事態宣言が発出されているが、延長の可能性もある。先が見えないため、今月と状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が遅々として進まないなか、変異株の影響もあり、感染の拡大が急速に収まるとは思えない。それに伴い、夏一杯は外食や旅行の自粛などが続き、身近な店で買物や飲食をする傾向が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種次第であるが、緊急事態宣言が繰り返し出されるようでは、経済に与えるダメージも大きい。感染が収束しても、食品以外は消費が収縮しているため、なかなか元には戻らないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・まだ当分は、新型コロナウイルスの感染状況に左右される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・緊急事態宣言の発出以降、まとめ買いをする客が増えたように感じる。ただし、当店は24時間営業のままであるため、夜の客も多く、大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・緊急事態宣言下で、一旦は生活必需品や園芸用品に対する単籠り需要で売上は伸びるが、2～3か月後に解除されると元に戻る。
<input type="checkbox"/>	スーパー（開発担当）	・3回目の緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルスの感染も続くなか、これから先景気が良くなるとは思えない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・生ジョッキ缶ビールの新製品が出て、売上を伸ばしている。新型コロナウイルスのワクチン接種が増えれば、少しずつ回復の兆しも見えてくる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が減れば、回復に向かうものの、減らなければ今後も厳しい状況となる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・少し前から、新型コロナウイルスの影響で買い控えを行う客が多くなり、客足も減っている。この状況がしばらく続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染収束の兆しが見られず、先行きは不透明である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言の効果が出て、少しは新型コロナウイルスの影響も緩やかになるが、また感染の第4波、5波が続くと予想される。ワクチンの接種が広がるまでは、まだまだ景気は厳しい。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡るには時間が掛かる。様子見が続くため、消費意欲は抑制された状態が続く。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言の延長の可能性が高まっているため、新型コロナウイルスのワクチンが行き届き、感染の抑制につながるまでは、横ばいの推移となる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・3度目の緊急事態宣言の発出もあり、新型コロナウイルスのワクチン接種や、治療薬の開発などが進まない限り、現状の維持が精一杯である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝石]（経営者）	・新型コロナウイルスによる影響は大きく、2～3か月後も影響は残るため、状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [医薬品]（管理担当）	・緊急事態宣言による外出の抑制はあるものの、新型コロナウイルスのワクチン接種や東京オリンピックの開催による、景気へのプラス効果も考えられる。大幅に改善される要因は見当たらないが、現状維持か緩やかな回復の動きが予想される。生活必需品を取り扱う当社については、現状維持が可能である。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販]（企画担当）	・新型コロナウイルスに対する不安が続く限りは、消費の回復も見込めない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言の延長の有無に左右されるが、時短要請が続くことを想定すると、景気の回復要素は少ない。仮に、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだとしても、20～50代への接種が進まない限り、効果は薄い。短期的に行動を抑えて感染者数が減ったとしても、また増加するため、飲食店としては非常に歯がゆい。

□	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が社会の隅々にまで広がっており、観光業は明るい見通しを持つことができない。
□	観光型旅館（経営者）	・全ては新型コロナウイルスの感染状況次第である。また、ワクチンの接種が広く進み、世間が安心して外出できる環境となるほか、Go To Travelキャンペーンの再開や、旅行をしても大丈夫といったメッセージが出なければ、状況は変わらない。
□	観光型旅館（経営者）	・変わらないというよりも、分からないといった方が良い。先行きが読めない。
□	都市型ホテル（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が完全に下火になるまでは、前年からの低調な景気のままであると予想される。ワクチンの接種には不透明感もあるが、効果次第では上向きになることも考えられる。まずは関東や関西の感染が収まり、人の流れが出てこなければ、ホテル業界は厳しい状況が続く。
□	都市型ホテル（管理担当）	・緊急事態宣言の延長が予想されるなど、当面は回復が期待しにくい。ただし、今後は新型コロナウイルスの感染の波が発生しないように、徹底的に対策を講じてほしい。
□	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染は拡大局面にあり、依然として変化がみられない。
□	旅行代理店（店長）	・Go To Travelキャンペーンが早い段階で再開される見込みも少ないなか、回復は難しい。
□	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かなければ、状況は良くなるどころか悪くなる。
□	通信会社（企画担当）	・ゲーム機器の販売先である、アミューズメント施設の売上が新型コロナウイルスの影響で減少するなか、緊急事態宣言によって更に悪化しているため、投資の予算が絞られ、今期の販売が期待できない。
□	競艇場（職員）	・緊急事態宣言が発出されて無観客開催となっているが、電話投票やインターネット投票は依然好調なため、大きな落ち込みはみられない。しばらくは現状維持で推移すると予想されるが、今後の展開は読みにくい。
□	その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・一旦は緊急事態宣言の効果は出るものの、何度も繰り返すうちに、徐々に効果も薄れていくと予想される。新型コロナウイルスの変異株の存在に加え、ワクチンの効果や接種のスピードといった不確定要素も多く、当面は回復が期待できない。
□	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種で感染の拡大を抑えることができれば、回復に向かうことが期待されるものの、接種がうまくいくとは思えない。
□	その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・4月は順調にプロ野球の試合が開催されたが、大阪府では4月25日から3度目の緊急事態宣言が発出され、プロ野球は当面無観客試合となり、5月のコンサートも公演中止となった。なお、3か月後の状況は不透明なため、現状と変わらないとしている。
□	その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・生徒の退会者数がかつてない規模となるなど、新型コロナウイルスの影響が感じられる。ワクチンが行き届き、少しでも景気が改善されれば、最低でも現状は維持できると予想される。
□	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・全体的に経済状態が良くないため、本来は景気も悪化するはずであるが、株高などを考慮すると、景気は余り変動しない。
□	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・マンションは供給戸数の減少で堅調な動きとなりそうだが、戸建て住宅は土地の仕入価格の高騰に加え、輸入建材の不足や価格の高騰により、建築コストの上昇や着工遅れのリスクが懸念される。
▲	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・緊急事態宣言の影響で、商品の販売が低迷する見込みであるため、厳しい状況が続くそうである。
▲	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種のスケジュールが立っていないほか、行動の自粛と緩和を繰り返すことでの疲労感など、購買意欲が高まる要素が見当たらない。
▲	百貨店（マネージャー）	・コロナ疲れのなか、緊急事態宣言の発出で小売などの経済活動が縮小し、企業や客のストレスが大きく悪化している。特に、新型コロナウイルスのワクチン接種に関しても、変異株が出現するなか、効果に懐疑的な見方が出てきている。景気回復はしばらく困難な局面と考えられる。

▲	百貨店（サービス担当）	・新型コロナウイルスの変異株の感染が拡大するなかで、緊急事態宣言が発出された。ゴールデンウィーク中に営業を自粛することで、売上に大きな影響が出るため、状況は悪化する。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、消費者の行動範囲が再び狭くなるため、行楽や外出関連の動きは悪くなると予想される。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も遅れそうで、先行き不安によって消費マインドは更に冷え込みそうである。
▲	スーパー（店長）	・今までは余り反応がなかったが、最近採用を募集すると、すぐに応募が集まるようになってきている。
▲	スーパー（店員）	・緊急事態宣言が出たため、外出や外食が減り、家での食事が増えるため、食料品の購入が増えて売上も伸びそうである。ただし、その反面、新型コロナウイルスの感染が収まれば、元の生活に戻り、売上も元に戻ってしまう。
▲	スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染収束の動きが見えないなか、消費や景気の不透明感は増している。仮に東京オリンピックが実施されたとしても、盛り上がりは期待できず、景気は停滞することが予想される。
▲	スーパー（販売促進担当）	・食品小売業以外の状況を見ると、今後の経済の落ち込みは不可避免と予想される。
▲	スーパー（社員）	・今後の懸念材料は、再び新型コロナウイルスの影響が長引くことで、客の所得の全体的な減少が続き、消費を抑える傾向が強まることである。
▲	コンビニ（経営者）	・コロナ禍の状況では、解雇や給与カットの影響で経済が安定しないため、先行きに対する不安が大きい。
▲	コンビニ（店長）	・また緊急事態宣言が発出されたほか、新型コロナウイルスの感染がいつまで続くのか、見通しが立たない。
▲	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が発出されており、景気の回復する要因が見当たらない。
▲	コンビニ（店員）	・緊急事態宣言の発出を受けて、閉店する店が増えてきたという話を客からもよく聞くため、厳しい状況が続くと予想される。
▲	衣料品専門店（営業・販売担当）	・来客数が減少したまま、増える見通しも立たない。緊急事態宣言下で、営業するべきか、休業するべきかの適切な指示もなく、対応の仕方が分からない。
▲	家電量販店（店員）	・ゴールデンウィークを前に緊急事態宣言が発出されたため、休業や時短営業などで人の移動が少なくなり、ダメージが出る。特に、家電量販店は前年の緊急事態宣言下では業績が右肩上がりとなったが、今回は大きく落ち込むと予想される。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスによる実体経済への悪影響が出つつある。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るっている。これだけ感染者数が増加し、ゴールデンウィークも自粛生活で過ごすことになれば、消費が冷え込み、景気の回復はますます遠のく。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でイベントが開けず、車の売行きは余り良くない。車検の予約も減ってきている。
▲	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・客の動向をみると、生活に必要な物の購入は多いものの、客の購入意欲は以前よりも低下傾向にあり、必要最低限の購入となっている。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・3回目の緊急事態宣言の影響が、どこまで長引くかが不透明である。
▲	その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・15歳以上の国民が、新型コロナウイルスのワクチン接種を終える年末頃までは、緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置などの繰り返しとなる。
▲	その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・マスクやパルスオキシメーター、体温計といった、新型コロナウイルス関連以外の受注は、減少が続いている。
▲	一般レストラン（企画）	・大阪だけでなく、関西全体の新型コロナウイルスの感染者数や重症者数はもちろん、ワクチンの接種も先行きが見えないため、3か月で良くなるとは思えない。まだまだ回復には時間を要すると予想される。

▲	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、緊急事態宣言が続く限り、来客数は減少する一方である。今後2～3か月も、例年に比べて減少することが予想される。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も順調に進むかが不透明で、接種を前提に宴会を考えている客もいるが、難しいように感じる。レストランは少人数での利用が見込まれるものの、中規模の人数で宴会を行うと非難される世の中であり、企業側も消費者側も難しい状況である。
▲	都市型ホテル（総務担当）	・緊急事態宣言が延長となる可能性があり、解除となった後も一定期間はまん延防止等重点措置が適用される可能性が高いため、景気の回復は更に先になる。
▲	タクシー運転手	・緊急事態宣言が発出された直後の日曜日は、人の出入りが少ないと報道されていた。新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、今後も下降線をたどる。
▲	通信会社（経営者）	・今後も緊急事態宣言などによる規制で、受注の低迷が予想される。
▲	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡るまでには、まだ時間が掛かるが、変異株の感染拡大で経済活動が制限されると予測される。
▲	テーマパーク（職員）	・お金の流れの停滞は、景気の悪化を招き、小売業や飲食店の閉店や廃業を招く。必要なのは新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、特に基礎疾患を持つ高齢者を感染させないことであり、そのために本当に緊急事態宣言が必要なのか、再検討をお願いしたい。
▲	住宅販売会社（経営者）	・先行きが全く見通せないなかで、事業計画などに支障が出てきている。
▲	住宅販売会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、市場に活気がなくなっている。ワクチンの接種が進まなければ、景気は改善しない。
▲	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率は先進国で最低であり、高齢者を訪問しても接種したという話を聞いたことがない。政治や行政の駄目さを肌で感じており、先行きには明るさが感じられない。
×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・現在も来客数、販売量共に異常な状態であるが、また3回目の緊急事態宣言が発出された。急激に増える新型コロナウイルスの感染者数をみると、一時的には厳しくなるが、感染を抑えることが必要である。中途半端な内容ではなく、もっとしっかりとした対策を講じ、緊急事態宣言が繰り返される現状をどうにかしてほしい。消費者にも自粛疲れが出ているほか、経営者も諸対策に対する疲れが出ていると感じる。このような状況で、数か月先に景気が上がるとは全く思えず、更に景気は落ち込んでいくという不安だけが高まる一方である。
×	一般小売店〔花〕（店員）	・来客数が極端に減っている。新型コロナウイルス対策がうまくいっておらず、この先も外出の自粛や、イベントの中止が予想されるため、売上は減少することになる。
×	百貨店（売場主任）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況や、緊急事態宣言の延長がどうなるかで大きく左右される。ただし、現在の報道状況などを勘案すると、当面は厳しい状態が続くと感じている。
×	百貨店（営業推進担当）	・ゴールデンウィークの落ち込みと先行きの不透明さから、消費の更なる悪化が予想される。
×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染防止で人流が抑えられ、観光業や飲食業などが低迷している影響で、スーパーでの食材の購入にも大きな影響が出ている。また、それらの業種で働く人の収入の減少で、消費に影響が出ている。新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、これらの傾向は続く。
×	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言の効果次第であるが、現時点では、今のような状態が長く続くと予想している。
×	衣料品専門店（経営者）	・商品を仕入れようとしても、メーカーが商品を作っておらず、客も買いに来ないため、どうすることもできない。
×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が国民の50%以上で実施されない限り、自由な外出ができない。結果として、外出着の需要は皆無といえる状態になる。
×	家電量販店（企画担当）	・大阪、兵庫、京都に対する緊急事態宣言の解除時期に大きく左右されるため、先行きが不透明である。

	×	乗用車販売店（経営者）	・確実に状況は悪くなっている。緊急事態宣言の発出により、やはり遠方の客は来店をためらっている。いつまでこの状況が続くのか、先が全く見通せない。
	×	住関連専門店（店長）	・当店の商品は日用品や必需品ではないため、世間に不安が広がっているときは、業績が伸び悩むことを何度も経験している。新型コロナウイルスのワクチン接種や、東京オリンピックの開催への不安などが、かつてないぐらいに広がっている以上、楽観的なビジネスの計画は立てられない。
	×	その他専門店 [宝飾品] (販売担当)	・飲食店などと違い、売上減少への保障も不透明ななか、生活必需品やし好品でもない宝飾品業界は、前年以上に先が見えず、経営の維持が困難な店が増えてくる。
	×	その他小売 [インターネット通販]（経営者）	・緊急事態宣言による影響が続く。
	×	一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言が出る前日は、若年層や高齢者の客で周囲の店はあふれ返っていた。この2週間後はまた新型コロナウイルスの感染者数が増える予想される。緊急事態宣言が出る前に、店に行っておこうという雰囲気があるため、感染対策を頑張っている店の努力は報われない。
	×	一般レストラン（店員）	・この先の新型コロナウイルス感染者数の推移によっては、休業要請などが出ることも想定される。先のことは全く分からない。
	×	その他飲食 [自動販売機 (飲料)]（管理担当）	・緊急事態宣言が発出されている間は、大型ビルや商業施設が閉鎖されたままであり、上向きの動きにはならない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・5月もゴールデンウィークの5月1～4日を除き、臨時休館となる予定である。今は、6月上旬からの営業再開を検討している。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、インバウンドの回復まで3年程度掛かると見込んでいる。
	×	都市型ホテル（フロント）	・緊急事態宣言が再び発出されたため、5月は稼働率、収入共に全く振るわない。宣言の解除次第で、今後の状況が変動すると予想される。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言の発出により、各施設の営業が自粛や休業となっている。ゴールデンウィークの営業収入は確実に減るはずであるが、当社は間引き営業をしないのかと感じている。
	×	観光名所（企画担当）	・3度目の緊急事態宣言によって休業に入ったため、再び収入がゼロとなっている。今後は同業他社も非常に厳しい状況になると予想される。
	×	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が前回の解除から短期間で再発出された。また、現在の感染スピードや感染規模の大きさから、もはや楽観的な見通しを立てることが難しい。ゴールデンウィークの休業による損失は甚大で、協力金などの相応の支援やワクチン接種の急拡大がなければ、事業の存続が厳しい状況となっている。
	×	美容室（店長）	・店の収入がない一方、支払は発生しているため、銀行に融資を申し込む必要がある。
	×	その他住宅 [展示場]（従業員）	・緊急事態宣言の発出により、住宅展示場ではイベントが一切できなくなり、来場者数は激減している。宣言期間の延長も考えられるため、今後も来場者数の回復は見込めない。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・従来からの事業、新規事業共に、以前よりも効率的になっている。特に、新規事業は今後更なる受注が可能となるため、良い方向に向かうと予想される。
	○	金属製品製造業（開発担当）	・繁忙期に入ったため、状況はやや良くなる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体市場の活況に助けられているほか、当社の紫外線やオゾン関連の技術もプラスに働いている。この効果が今後1年以上は続きそうである。あとは従業員が感染しないことを祈っている。
	○	建設業（経営者）	・今後も少しずつではあるが、案件が増えてくる予定である。ただし、今回の緊急事態宣言で、どのような影響が出るかが分からない。
	○	輸送業（営業担当）	・大手メーカーの海外生産品の一部が国内生産に切り替わり、関連の荷物が増えている。
	○	新聞販売店 [広告]（店主）	・希望的観測もあるが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば改善に向かう。

○	広告代理店（営業担当）	・Web媒体、紙媒体共に、広告売上が前年、2年前を上回っている。
□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンを接種しない限り、人の流れは増えないため、景気は変わらない。
□	繊維工業（団体職員）	・今後は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が減少に向かうまで、厳しい状況が続く。
□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・現状を好転させる要因が見当たらない。
□	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で不安定な状況が続くため、企業のコスト削減の動きは続く。
□	化学工業（管理担当）	・取引先や海外子会社からは、現在の好調な出荷が続くと情報の得ている。ただし、利益に関しては、原材料である化学品の大幅な値上げにより、減少が予想される。
□	プラスチック製品製造業（経営者）	・現状は新規案件はまだ少ないものの、新年度となり、徐々に増加が見込まれる。ただし、マイナス材料もあるため、プラスマイナスゼロで現状維持が予想される。
□	金属製品製造業（経営者）	・自動車関連部品の材料関係で、半導体の不足による操業低下の不安はあるが、具体的には表面化していない。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・これから数か月先も、今の最悪の状況は変わらない。
□	一般機械器具製造業（設計担当）	・新型コロナウイルス禍で飲食関連は景気が悪いが、当社の周囲では大きな変化はみられない。
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・緊急事態宣言の解除後、家電量販店が通常の営業に戻れば、実売の推移はここ数か月と変わらない動きになると予想される。
□	建設業（経営者）	・3度目の緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルスの感染収束の見通しも立たない今、企業の設備投資計画が見直されている。仕事量は減少傾向にあり、受注競争も激しくなると予想される。
□	建設業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が収束に向かった後のことを考え、様子見が続いているように感じる。
□	輸送業（営業担当）	・今の状況では、配達量が増えるようなイベントはできない。
□	金融業〔投資運用業〕（代表）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がり、感染者数は頭打ちになると考えられる。ただし、経済はハンドルを急に切っても反応できないため、来年以降の回復に期待したい。
□	司法書士	・今回の緊急事態宣言や、新型コロナウイルスのワクチン接種で感染者数がどう変化するかによるが、これ以上悪くならないように願うばかりである。
□	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの影響によるどん底の状態、生き残り戦略の計画や、先を見据えた努力が続いている。そのなかでも、新しい販売ルートや新しい商品を模索し、創造性の発揮を図るといった動きが顕著であり、先の希望も感じられる。
□	経営コンサルタント	・今月は、事業再構築補助金に対する問合せや申込みについての連絡が多かった。相談に応じて感じたのは、やはり完全な新規業種への転換が行えるような企業は少ないため、当面は現状維持のための努力が続くと予想される。
□	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・ゴールデンウィーク前の緊急事態宣言の発出など、新型コロナウイルスの影響は大きい。
□	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・3回目の緊急事態宣言も、人流を抑制するには余りに弱すぎるため、早晚新型コロナウイルスの感染第5波に見舞われることが予想される。
▲	食料品製造業（従業員）	・緊急事態宣言が延長されるか、解除されたとしても一定期間後の再発出が想定されるため、予断は許されない。新型コロナウイルスのワクチンの接種状況も、数か月では思ったほど進まないため、状況は良くならない。
▲	繊維工業（総務担当）	・靴下業界では、消費者向けの一般商品は、新型コロナウイルスの影響で市況の悪化が続いている。医療機器などの商品は問題なく販売できているが、一般商品のマイナスをカバーするまでには至っていない。
▲	繊維工業（総務担当）	・消費者向けの販売では、購入意欲の減少が目立ち、集客も少なくなっている。今は打つ手が見当たらない。
▲	化学工業（経営者）	・緊急事態宣言により、飲食店や宿泊業向けの家具メーカーは、半月から1か月遅れで受注が大きく落ち込むため、今回も悪くなると予想される。

	▲	窯業・土石製品製造業 (管理担当)	・東京、大阪、兵庫、京都の4都府県に緊急事態宣言が発出され、その影響が少なからず出てくる。現状は、短期間の宣言となっているが、今回は休業する業種や施設も多いため、景気はやや悪くなると予想される。
	▲	電気機械器具製造業(営業担当)	・引き合いが少ないほか、受注案件の納期が先延ばしになっている。
	▲	電気機械器具製造業(営業担当)	・緊急事態宣言が発出されたため、今後の見通しが立たない。
	▲	その他製造業[履物] (団体職員)	・新型コロナウイルスの感染第4波により、緊急事態宣言が発出され、しばらくは先の見通しの立たない状態が続きそうである。
	▲	建設業(経営者)	・3度目の緊急事態宣言の発出により、休業が必要な業種や関連業種では投資マインドが低下するほか、その従業員による住宅取得意欲の低下が懸念される。
	▲	輸送業(商品管理担当)	・新型コロナウイルスの影響で、酒類の販売が落ちているため、売上が悪化する。
	▲	金融業(営業担当)	・緊急事態宣言の解除後の状態によって、大きく変わる。
	▲	金融業(副支店長)	・4月25日からの緊急事態宣言の発出に伴い、百貨店の臨時休業や、巣籠り消費による買物需要の増加といった動きが出るなか、ここ1か月は経済の動きが鈍くなると予想される。
	▲	広告代理店(営業担当)	・緊急事態宣言の発出で、更にキャンペーンやイベントが中止、延期となるため、その関連広告も出稿が減りそうである。
	▲	その他非製造業[機械器具卸](経営者)	・物件のほか、設備投資の話が少なくなってきたため、今後も悪くなる。
	▲	その他非製造業[衣服卸](経営者)	・緊急事態宣言で明らかに消費マインドは低下しているため、5月以降の消費は低調になることが予想される。
	×	化学工業(企画担当)	・市場は回復基調となりつつあったが、緊急事態宣言の発出や新型コロナウイルスの感染者数の増加に加えて、原料価格の高騰も進んでいる。
	×	金属製品製造業(営業担当)	・鋼材の価格といった製造コストがかなり上昇しているが、製品価格への転嫁がなかなか進まない。
	×	通信業(管理担当)	・緊急事態宣言の発出による影響で、景気が冷え込む。
	×	不動産業(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響はしばらく続く予想され、ワクチンの接種もなかなか進んでいないため、景気は悪くなる。
	×	その他非製造業[電気業](営業担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大が解消される見通しが全く立たないため、ますます悪化する。
雇用 関連	◎	—	—
	○	*	*
(近畿)	□	人材派遣会社(経営者)	・各企業は本格的な新規採用に至っておらず、当面は派遣スタッフをうまく使っていく動きとなっている。
	□	人材派遣会社(営業担当)	・3度目の緊急事態宣言が発出されたが、休業補償や契約終了の話は、以前の緊急事態宣言時よりも少ない。コロナ禍の状況に、企業側も慣れてきた印象を受ける。
	□	人材派遣会社(営業担当)	・街中では、活気を取り戻したと思えば、休業要請が出るという繰り返しである。休業はレジャー産業、特に飲食業界に集中しており、かなりつらいと感じる。
	□	アウトソーシング企業 (社員)	・採用の募集を行っていないので、今後も人員は増えない。
	□	新聞社[求人広告](営業担当)	・緊急事態宣言については、これからも定期的に出されると予想される。そうしたなかで、柔軟に対応できる企業とできない企業の違いが生まれると感じる。こうした流れはこれからも続くため、全体的にはプラスマイナスゼロになると予想される。
	□	職業安定所(職員)	・直近の新規求人数は、建設業が前年比で21.5%増加したほか、製造業では機械製造、サービス業では派遣紹介業の増加がみられた。また、4月に入っても前年を上回る推移となっている。ただし、新規求職者数も増えているため、引き続き有効求人倍率は低い水準で推移することが予想される。
	□	職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染第4波の影響が全てであり、これ以上悪くなるとは思えないが、良くなる材料も見当たらない。
	□	民間職業紹介機関(職員)	・新型コロナウイルスの感染が収束しない状況では、求人が増加するとは考えられない。

□	民間職業紹介機関（営業担当）	・緊急事態宣言に伴い、新型コロナウイルス関連の事務処理が増える傾向にあるが、通常の求人が少なくなってきたため、余り変化がないように感じる。
▲	人材派遣会社（役員）	・緊急事態宣言が発出され、景気に水を差す状況となっている。今後も新型コロナウイルスの感染は大きな波が繰り返し到来すると予想されるため、景気が良くなることはない。
▲	人材派遣会社（支店長）	・緊急事態宣言の影響が出るかもしれない。
▲	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・4月25日に3回目の緊急事態宣言が発出されて以降、消費者のマインドも下がり、景気が上向く要素はない。特に、飲食や旅行、観光業といった直接ダメージを受ける業界は、更に深刻となる。今後は新型コロナウイルスのワクチン接種の進行次第となるが、一気に進むとは考えられず、東京オリンピックに向けての開催機運も盛り上がっていない。国や自治体も目新しい施策が提示できていないため、景気はしばらく悪化が進むと予想される。
▲	職業安定所（職員）	・東京オリンピックの動向も現時点では不透明であるほか、新型コロナウイルスの感染第5波への懸念もあり、飲食業や観光関連産業の回復が見込めないため、今後ますます景気は悪くなる。
▲	職業安定所（職員）	・求人は人手不足の建設業や、製造業の一部で改善がみられるが、求職者が増加傾向にあるため、景気は悪くなる。今後は、緊急事態宣言の発出による雇用への影響に注意が必要である。
▲	職業安定所（職員）	・緊急事態宣言の発出による影響が出る。
▲	民間職業紹介機関（営業担当）	・3か月後はちょうど採用市場での1次募集のピークが終わり、2次募集が始まる時期となるが、採用の人数や質が充足されれば、求人数は減ると予想される。景況感という意味では悪くなる。
▲	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの影響を解消するためにも、ワクチン接種を早急に始める必要がある。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・緊急事態宣言の再発出で、広告費といった本業以外の投資意欲が、関西の地元企業には全くみられない。
×	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルス対策も進まず、一進一退の動きが続けば、企業の体力も尽き、会社を清算する動きがこれから増えてくる。政府による、抜本的な短期集中での対策が必要と感じる。